

ぼくのねこポー

「ポー」の時間

2年 T・Kさん

このお話に出てくるねこは「ぼく」からはポー、森くんからはトムとよばれていました。このねこはポーとよばれた時と、トムとよばれた時の、ようすや気もちがちがうように思いました。ぼくも名前のよばれかたによっていろいろな気分になるからです。

ぼくの名前は「Kともき」といいます。ようち園では「ともきちゃん」とよばれていました。ようち園のアルバムを見ると「ともきちゃん」の時のぼくがうつっています。今でも「ともきちゃん」とよばれると、ようちえんのころにタイムスリップして宝さがしごっこをしていた楽しい思い出の中にもどれる気がします。

小学校に入ってから先生や友だちから、「Kさん」とよばれるようになりました。「Kさん」とよばれるとせなかをのびしてべん強をがんばる気もちになります。大きくなった小学生をイメージするからです。

スポーツトレーニング教室では「ともき!!」とよばれています。「ともき!!」と大人からよばれると、しゅうちゅうして、体を早くせいかくにうごかすめいれいを自分に出します。

家ぞくからは「ともくん」とよばれています。ほめてもらうときやあそぶときにときどき「ともっち」とよんでもらえます。ぼくはこのよび名がとくに気に入っています。自分がかわいいキャラクターになったようにかんじるからです。

ねこのポーは、森くんの家ではトムだったけれど、ひっこしてきて新しい町のぼくの家からにげずにしばらくくららしていました。ぼくの「ともっち」みたいにとくべつなよび名を楽しんでいたのではないかな、と思います。だから森くんの家でトムにもどったポーもときどき「ぼく」の家にあそびに来て「ポー」の時間を楽しんでもらいたいです。